

# A) 入院患者の転倒・転落発生率 B) 治療を必要とする転倒・転落発生率 C) 損傷レベル4以上の転倒・転落発生率

## 指標の意義

・転倒・転落を予防し、外傷を軽減するための指標。特に、治療が必要な患者を把握していく。

## 指標の計算式、分母・分子の解釈

・収集期間：1ヶ月毎 ・調整方法：‰（パーミル、千分率）表示

|    | 各指標の計算式と分母・分子の項目名  | 分母・分子の解釈   |
|----|--|--|
| 分子 | A) 入院患者の転倒・転落件数<br>B) 治療を必要とする転倒・転落件数<br>C) 損傷レベル4以上の転倒・転落件数 | B) はレベルの定義なし。「治療が必要な場合」の全てを算出する。画像検査を実施して異常がない場合は除く（画像など検査だけの場合は除く）。<br>C) は「損傷レベル4」（重度：手術、ギブス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった）以上とする。 |
| 分母 | 入院患者延数（24時在院患者+退院患者数の合計）                                     |  |

## 考察

### 【2013年年間数値報告】

A) 最小値 1.21 25%値 3.47 中央値 4.34 75%値 5.35 最大値 9.16  
B) 最小値 0.00 25%値 0.15 中央値 0.23 75%値 0.44 最大値 1.19

C) 最小値 0.00 25%値 0.00 中央値 0.03 75%値 0.06 最大値 0.29  
回答病院：75病院

### 【考察・分析】

全体評価としては、A)・B)ともに昨年度中央値よりわずかに減少していました。転倒・転落発生率の高い10病院は、昨年同様であり、A)・B)ともに高値である病院が4病院ありました。

その一方で、転倒・転落発生率が多く（中央値以上）ても、治療を必要とする転倒・転落発生率の低い病院もあります。

今年から加わった新指標C)については、転倒・転落発生率との相関は、何ともいえません。来年以降のデータとの比較が必要と思われます。

入院患者さんの日常生活動作を可能な限り制限することなく、転倒・転落率を減少させ、治療を必要とする件数を減少させるための工夫、リハビリマインドを持って、患者さんに接する創意・工夫が必要です。尚、2012年日本病院会の転倒転落発生率（一般病床）の平均は、最小値0.00‰、中央値2.26‰、最大値17.44‰です。

いくつかの病院で、転倒・転落のアセスメントが行われ、対策に結び付けられる報告がなされています。

## 改善事例

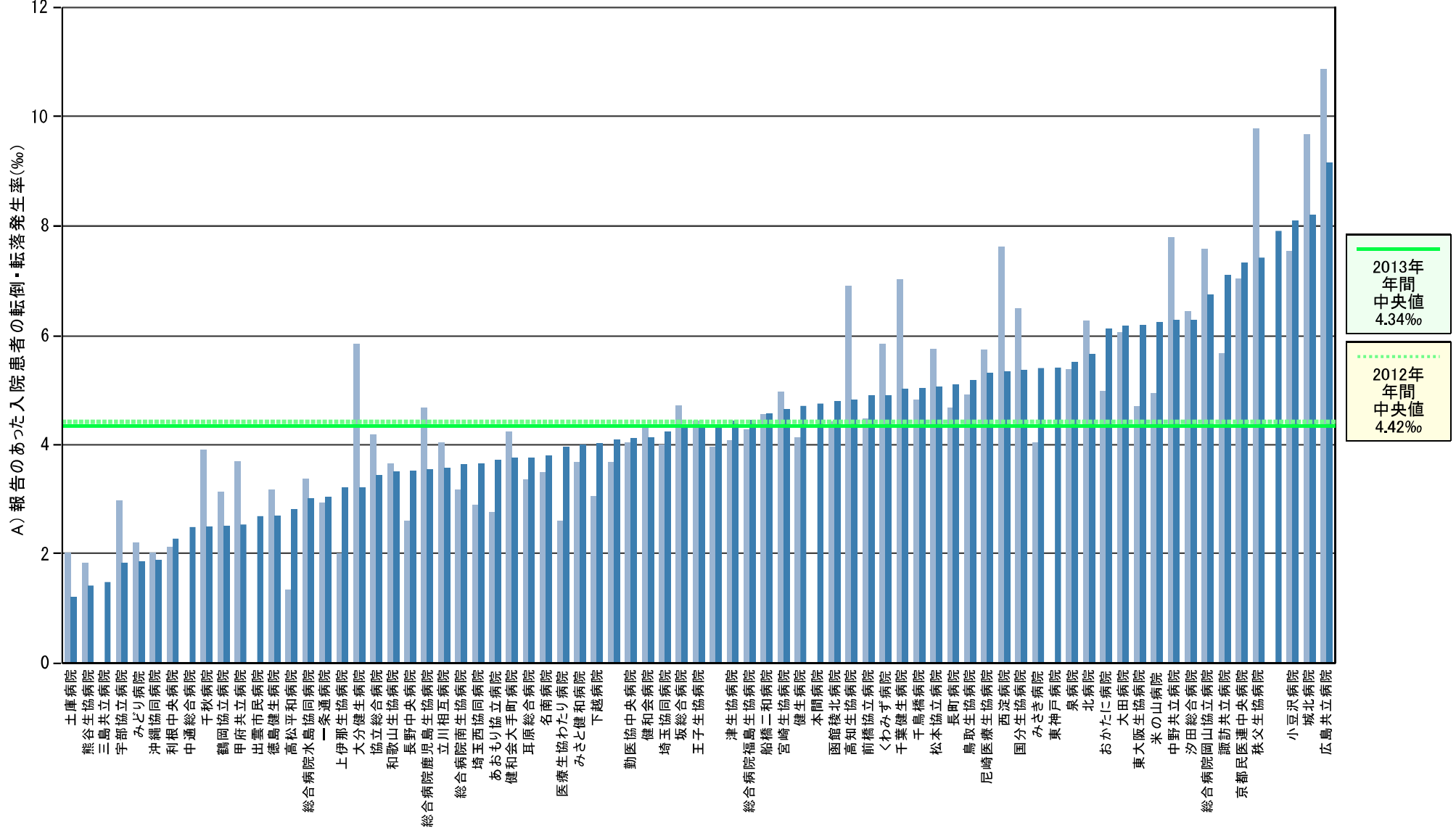
・昨年度より、数値改善に向けて医療安全室（リスクマネージャー）と取り組みを開始した「報告のあった入院患者の転倒・転落発生率」については、入院時に配布する「転倒・転落防止に向けてのお知らせ文書」作成や、入院時の持ち物欄をスリッパから滑りにくい履き物へ変更、更に入院の案内を行う際に転倒・転落に対する注意点を話すことにより数値改善に繋がった。

・転倒・転落については病棟別、発生場所などを分析し、センサーマットの導入で前年比較した結果、大きな改善があった。  
・転倒・転落の発生を減少させる目的でワーキンググループ（1年間限定ではあるが）を立ち上げた。（“てんとう虫”導入など）



# 指標1: A)報告のあった入院患者の転倒・転落発生率

分子: 報告のあった入院患者の転倒・転落件数  
 分母: 入院患者延べ数(退院患者延べ数含める)

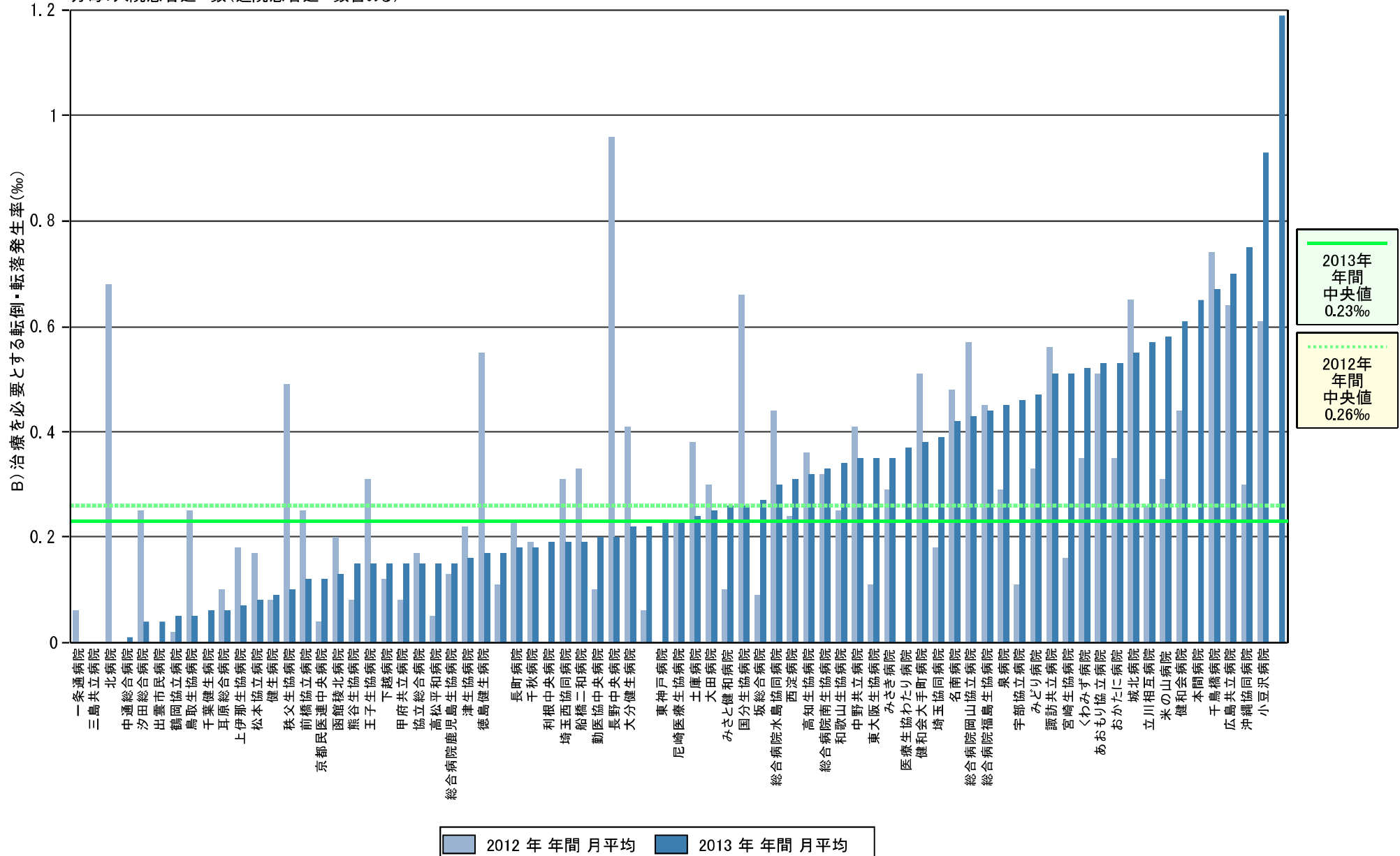


■ 2012年 年間 月平均 ■ 2013年 年間 月平均

2013年 年間 中央値 4.34%  
 2012年 年間 中央値 4.42%

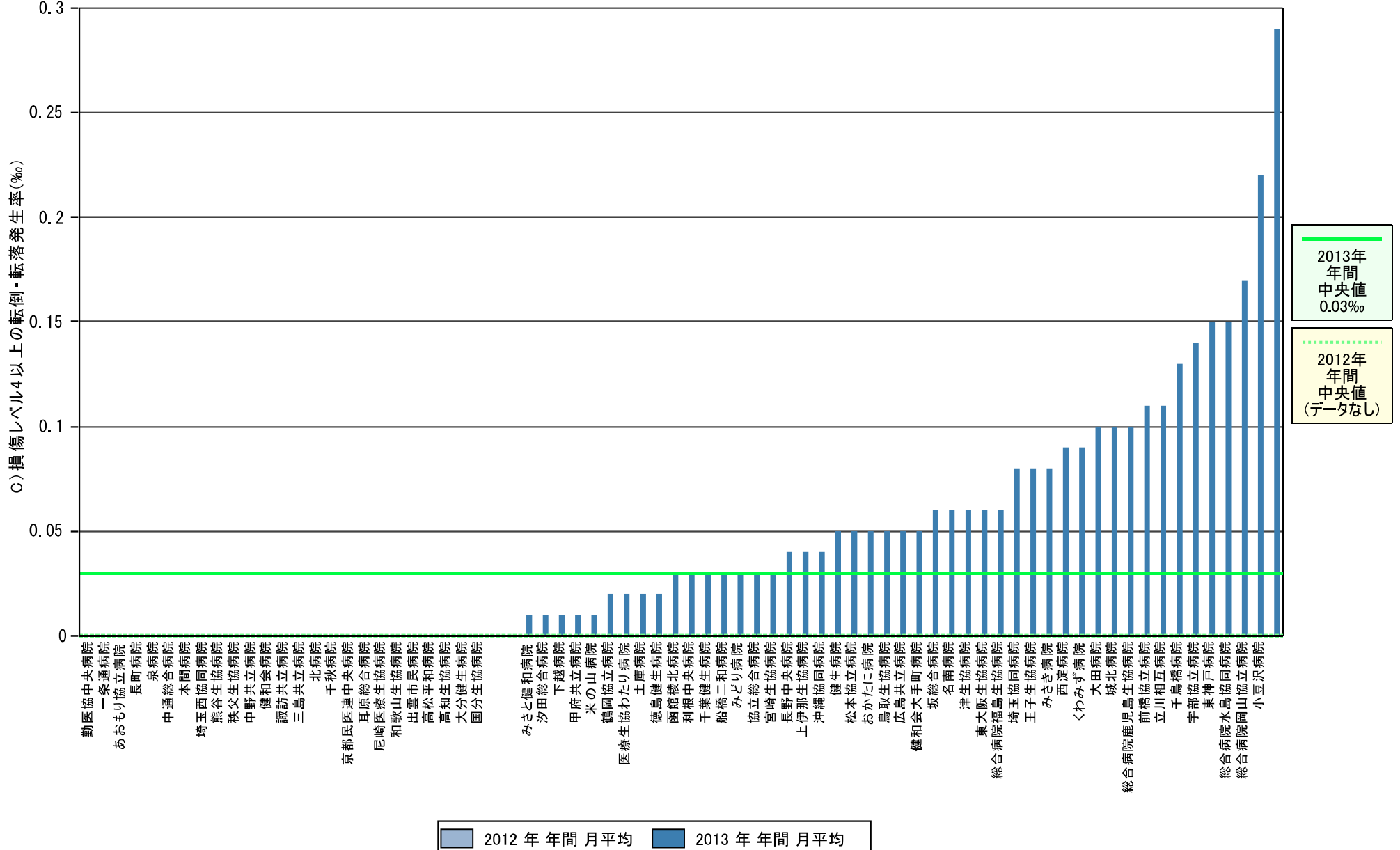
# 指標1: B) 治療を必要とする転倒・転落発生率

分子: 治療を必要とする転倒・転落件数  
 分母: 入院患者延べ数(退院患者延べ数含める)



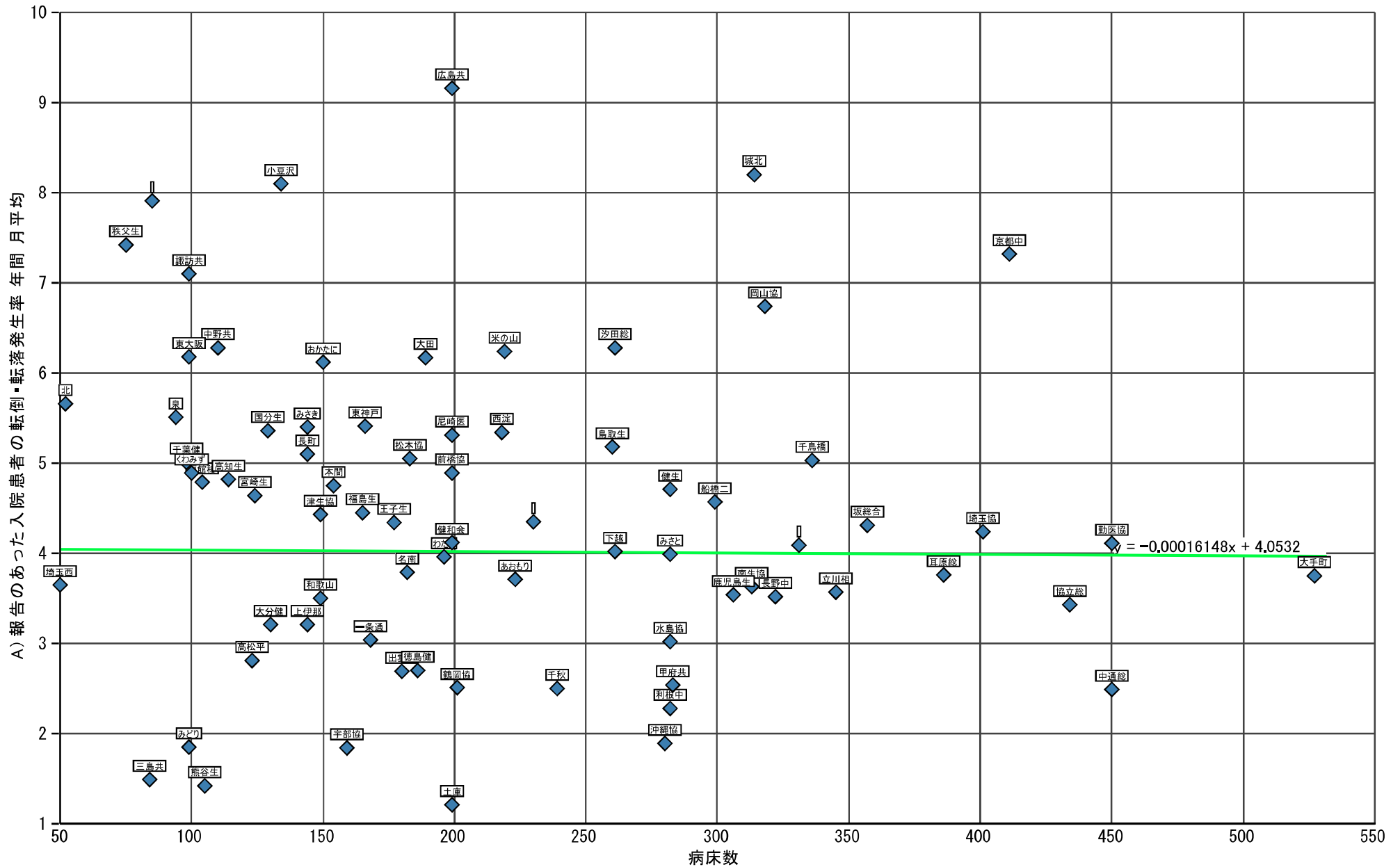
# 指標1: C) 損傷レベル4以上の転倒・転落発生率

分子: 損傷レベル4以上の転倒・転落件数  
 分母: 入院患者延べ数(退院患者延べ数含める)



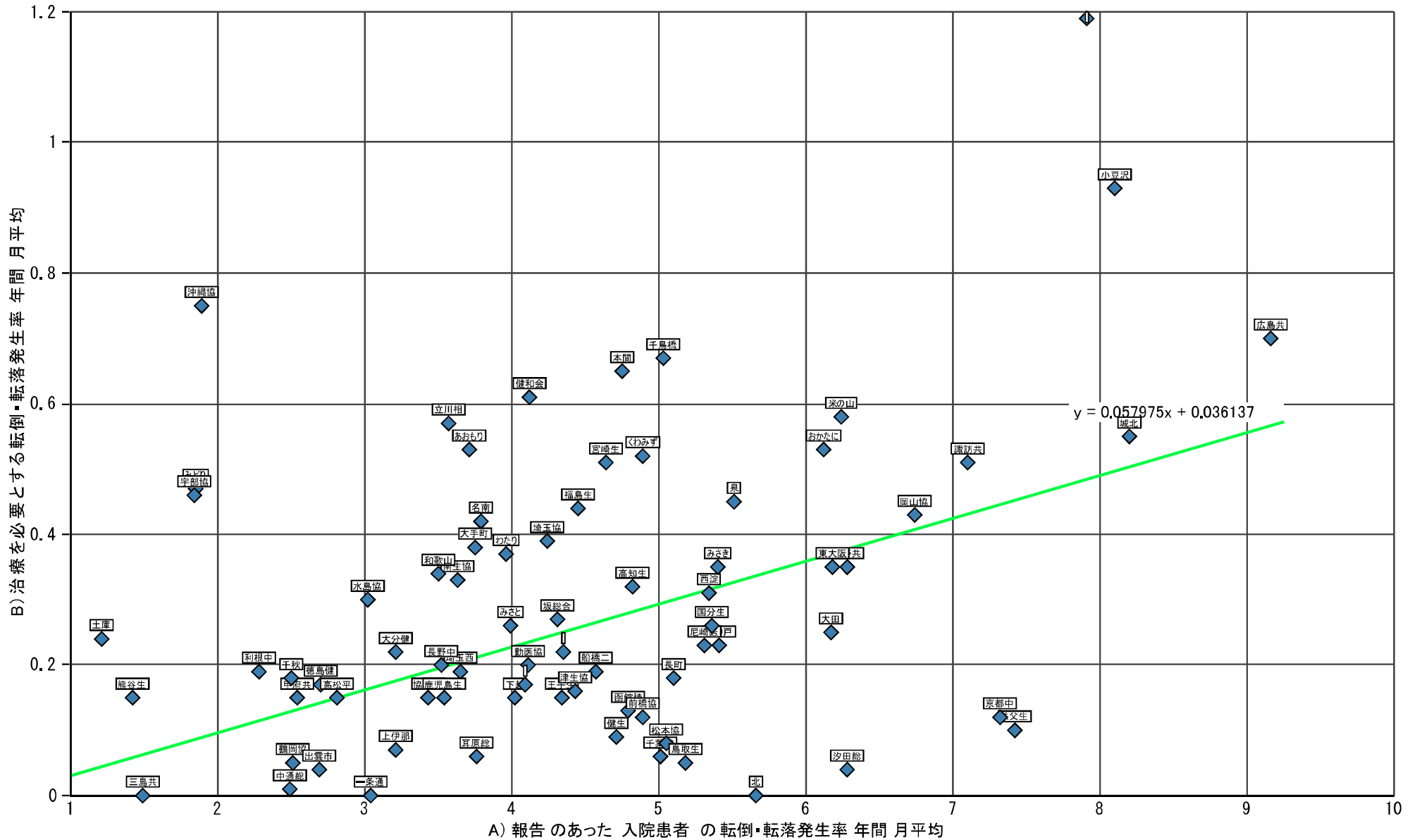
# 指標1: A) 報告のあった入院患者の転倒・転落発生率

相関係数 R = -0.0001



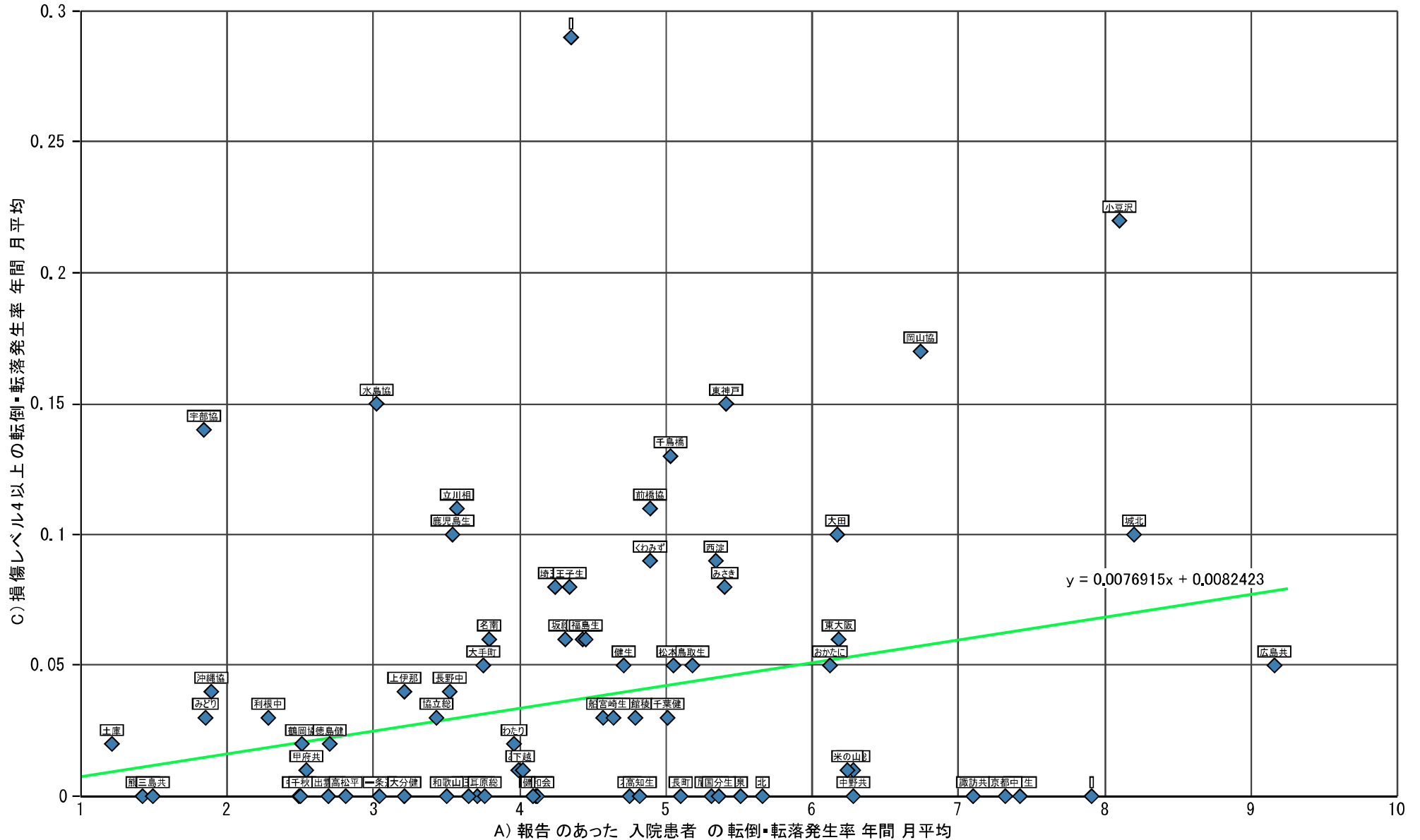
# 指標1: A) 報告のあった入院患者の転倒・転落発生率 B) 治療を必要とする転倒・転落発生率

相関係数 R = 0,0280



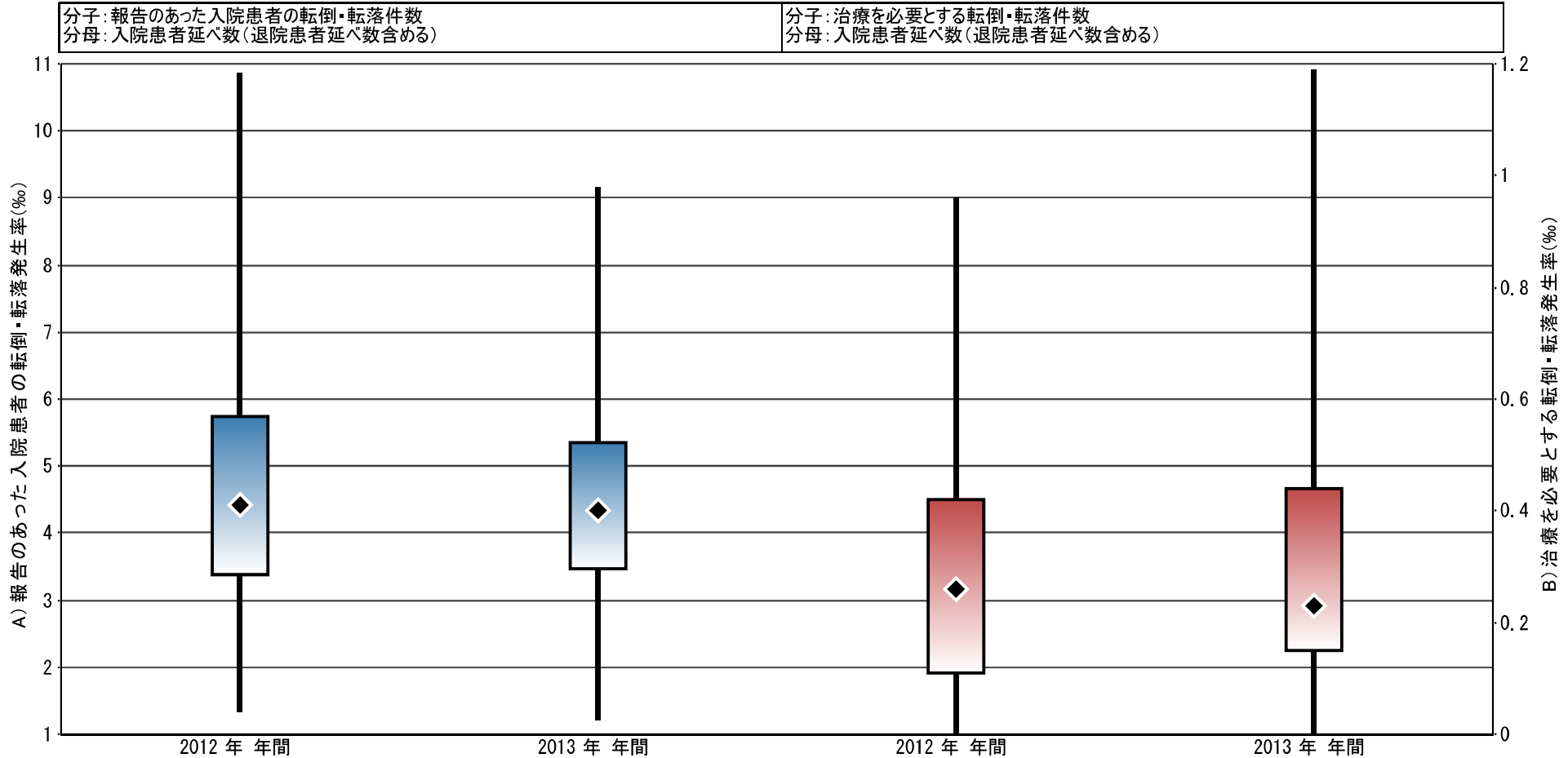
# 指標1: A) 報告のあった入院患者の転倒・転落発生率 C) 損傷レベル4以上の転倒・転落発生率

相関係数 R = 0.0035





## 指標1: A) 報告のあった入院患者の転倒・転落発生率 B) 治療を必要とする転倒・転落発生率



|       | A) 報告のあった入院患者の転倒・転落発生率 |          | B) 治療を必要とする転倒・転落発生率 |          |
|-------|------------------------|----------|---------------------|----------|
|       | 2012年 年間               | 2013年 年間 | 2012年 年間            | 2013年 年間 |
| 最小値   | 1.34                   | 1.21     | 0.00                | 0.00     |
| 25%値  | 3.38                   | 3.47     | 0.11                | 0.15     |
| ◆ 中央値 | 4.42                   | 4.34     | 0.26                | 0.23     |
| 75%値  | 5.74                   | 5.35     | 0.42                | 0.44     |
| 最大値   | 10.87                  | 9.16     | 0.96                | 1.19     |
| ● 自病院 | (なし)                   | (なし)     | (なし)                | (なし)     |